

# 山田学区 社協だより

第 44 号  
発行  
山 田 学 区  
社会福祉協議会

## 『住民参加の地域福祉』を 掛声から実行へ

山田学区社会福祉協議会  
会長 竹 川 昭 夫

平成十五年度も最終月を迎えました。学区の皆様には日々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は山田学区社協の事業推進に格別のご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

年度末ともなれば、一年間の事業活動をふり返り、反省し次年度事業推進に役立てる作業は私ども役員にとって欠かせない大事な仕事であります。

そのために、私は年度始めに立案計画した事業内容をどれだけ忠実に実行できたかを云々するまえに、今一度社協の任務を確認することにしました。草津市社協のしおり(二〇〇三年版)一頁⑤目的の項には次の記述があります。『社会福祉協議会は住み慣れた地域で、だれもが安心

して生がいをもって暮らせるまちづくりをめざして、市民が知恵と力を出し合って、市民・サ・イ・ドから福祉のまちづくりをすゝめていきます」と記されています。私が特に重大に受け止めたのは、市民が――、市民・サ・イ・ドからの――、の箇所です。私達社協役員は事業計画の中に福祉の土壌作りならびに福祉の担い手づくりを取り上げて、それなりの事業推進をはかっています。

住民の皆様と呼びかけて、福祉への関心を高めてもらい、福祉活動の重要性について認識を高め、できれば活動の担い手となって地域社会に何らかの功績をしてもらいたい。具体的にはボランティアグループへの参加とか、福祉委員としての活躍の場もあるなどを訴えています。こうし

た啓発活動は学区社協が主催するものの他にも、市社協開催の色々な研習の機会を紹介し受講を推めることもあります。しかし乍ら、年間の受講に限度があること、受講者が即そのまゝ何らかの福祉活動の一員となって頂ける訳でもないことを考えると、市社協のしおりにあるいわば、市民総福祉推進の戦力、を目ざすことはまだ大きな隔たりを感じるのです。

実は、山田学区社協主催で例年実施している「高齢者ふれあいサロン」を今年も行いました。一年に一回ないしはせいぜい二回の出席で、参加者に次々と喜びを提供する事は無理だ!! 年々参加者も減る傾向も見られる。この事業の有効性を考え直さねばと他の役員とも話をしております。

一方この二、三年の間にクロスアップしてきて、今年以降も積極的な新規取組が山田学区内で活発となってきた。この「ほのぼののサークル」活動です。この活動の特別は、住居にできるだけ近い場所、老人クラブなどが主催される通常の社会活動もほぼつづ参加できにくくなって

きたかなと考えられている程度の高齢者や、もつと若い層でも、身体に多少ハンデキャップがあるので、出不精となつている人のために健康な老人や、もつと若い層の住民がそれなりのお世話をすること、月々一回、できれば二回以上、おしゃべり、簡単な食事、音楽を聞いたり一しよに歌ったり、ゲーム、一寸した趣味の物づくり挑戦など、何人かが気軽に集つて楽しいひと時を過ごす機会と場を提供するところにあります。

私も、この一年近く地元町内の「ほのぼののサークル」づくりを、町内のボランティアさんと一しよにすゝめてきて、ふと気付いたことは、より多くの住民の皆様が、福祉の担い手として仲間に入つて頂くには、「ほのぼののサークル」の様な、身近な高齢者の気軽な、お世話をする役割から始めてもらうのが一番手取り早いのではないかということなのです。

真正面から 福祉の担い手になつて下さいと口説かれるよりも、こんなサークルで、色々とお世話も要るし、知恵も貸してほしいし、貴方(女)

も手伝つて貰えないかしらと先輩の近所の女性(または男性)に誘われるほうが、福祉活動に入りやすいのではないかと思います。しかも、「ほのぼののサークル」は町内で、大きい町ならば二、三あるいは四サークルできてもおかしくないほどの小地域でこそ根づかせる必要のあるサークルです。お世話する人(福祉の担い手)の数も必要となつてきます。市社協が掲げることができるだけ多数の市民が、持てる力を注ぎこめる真に住民参加による福祉推進に早く近づくことができるのではないかと考える次第です。

「ほのぼののサークル」の本格展開はまだまだこれからです。サークルの成果を高齢者に、ふんだんに提供しつゝ、福祉の担い手の増強にも役立つ「サークル」展開を重点的に推進することで、わが山田学区の社協もその任務遂行への大きなステップを踏み出せば幸いです。

学区の皆さんも、私の提案をご理解頂いて住民パワーを結集し地域福祉の推進にご協力頂ければ幸甚です。

掛声から実行へ

これからの、よりよいことを一日で切る表示の方法を考えたといける

★より多くの方から

★具体的目的

# 高齢者ふれあいサロン

事務局 本多利光

山田学区社会福祉協議会では毎年学区内の民生児童委員、福祉委員、ボランティアグループの御協力を得て、一人暮らしの老人や、高齢者だけの世帯の方々を対象に「高齢者ふれあいサロン」を開催しております。本年度も山田公民館に於て、ブロック別に三回、ロクハ荘に於て、学区全域を対象に一回開催致しました。

今後より多くの対象者の方々が参加されますようお願い致します。

第一回 対象 南部ブロック  
十一月十九日(水)  
山田公民館

- ・ 参加者 二十二名
- ・ 上笠在宅介護センターの相談員のお話し。
- ・ 午後おしゃべりタイム
- ・ 支援担当  
ボランティアたんぼば

第二回 対象 北部ブロック  
十一月二十一日(金)  
山田公民館

- ・ 参加者 二十三名
- ・ 上笠在宅介護センターの相談員のお話し。
- ・ 午後おしゃべりタイム、ゲーム
- ・ 支援担当  
ボランティアみのり

第三回 対象 東部ブロック  
十二月十二日(金)  
山田公民館

- ・ 参加者 十七名
- ・ 上笠在宅介護センターの相談員のお話し。
- ・ 午後おしゃべりタイム、ゲーム
- ・ 支援担当  
ボランティアとしび

第四回 対象 学区内全域  
二月二十六日(木)  
ロクハ荘

- ・ 参加者 四十七名
- ・ 市の保健婦さんによる健康相談
- ・ 杉山氏のアコーディオン伴奏により、ナツメロ合唱、カラオケ
- ・ 入浴
- ・ 支援担当 日赤奉仕団、健康推進員

支援いただきました各種団体の皆さん、ご協力ありがとうございました。



ふれあいサロン



ほのぼのサークル



### 山田学区賛助会員紹介

今年も多数賛助会員となって協力頂きました。お礼を申し上げます。

平成十五年度賛助会員の募集を各町会長にも同行願ひ、学区内の事業所(法人・個人)ならびに個人の方々を訪問、多数の加入を頂きました。昨今の厳しい経済状況の中にも拘わらず、地域での支え合いによる地域福祉活動の重要性に深いご理解を頂き、多額の賛助会費を頂戴致しました。本紙上を以て厚くお礼を申し上げます。ご紹介しませう。

(敬称略、順不同)

清水正樹・久泉豊店・㈱アヤシロ・竹川昭夫・杉江工業所・㈱ナカイテクノ・(有)横江製作所・中島工務店・田淵文具店・(有)田淵鋳金・宇野はじめちゃん館・横江孚彦司法書士事務所・横江鋳金㈱・相撲ちゃんこ 大岳・㈱光真製作所・池田商会・(有)中島建設・中島歯車工業㈱・共和工業・カラオケしま・平井運輸(有)・藤田工務店㈱・平井酒店・清水硝子店・福盛教材・浜口自転車店・北山田診療所・あけ

ぼの食堂・焼肉 夕鶴・一品料理 悦ちゃん・家庭料理 よつちゃん・きよ香・清水 勉・オートカム・居酒屋 きみちやん・中野製薬㈱・西濃運輸㈱・駒井工務店・喫茶 ソレイユ・こまい酒店・園田工業㈱・園田瓦店・杉江酒店・(有)草津レンタカー・広川電機㈱・大信興産㈱・㈱久泉エンジン・アリング・㈱デジタラクティブ・(有)馬場自動車・久泉進・(有)馬場工務店・堀井正清・京滋リネンサプライ㈱・㈱テクノオーミ・膳所木材工業㈱・杉江明・ボンフリー㈱・西本産業㈱・山一産業㈱・久保水道・西本電気工事㈱・久保産業㈱・馬場建設・サガミ草津店・髪結 愛・柴田酒店・木村組㈱・魚八給食㈱・ハーレーダビッドソン滋賀・㈱尾賀亀湖南草津・(有)久保電気・平井自動車工業㈱・西村建材店・杉江医院・井上観魚園・佐山水道工業㈱

以上

### 独居高齢者

### ふれあいバスツアー同乗記

会計 山岡 與一

本年度より山田学区の社会福祉協議会会計を担当することになりました。地域社会での活動は初めてですので色々とお迷惑をおかけすると思いますが先輩諸兄のご指導をよろしく願ひ致します。

恒例になっています(独居高齢者ふれあいバスツアー)をお一人暮らしの高齢者の方々、福祉委員、社協役員、総勢32名で12月17日に行いました。

12月のことゆえ寒さと雪を心配していましたが当日の天候は暖かい快晴で、バスツアーにはおあつらえ向きとなり、この事でこの行事の半分は成功したのではと感じました。

バスは北陸自動車道を木ノ本ICでおり、高月町の渡岸寺(どうがんじ)へ。ここには織田信長の焼き討ちを檀家が

作った地下壕で逃れた国宝の十一面観音立像が祀られてあります。この像はわが国彫刻史上屈指の名作といわれる官能美を漂わせていますが護国会の方による説明が大変分りやすく面白かったので全員笑いの内に寺を後にしました。

お昼は同じ高月町の(北近江リゾート)に入園し、昼食後、地下1500メートルから汲み出した天然温泉を幾つもの湯船(ジェットバス、バブルなど)で味わい(心と体の癒し)を堪能しました。

帰途は湖岸道路に入り環境庁が琵琶湖とその自然の保護のために建設した(湖北野鳥センター)を



見学しました。(鴨(かも)の一群は草津界隈の琵琶湖でも観察されますが(雁(かり)は珍しい。まして(鷺(わし)ともなればこれは大へん希少価値で暫くは望遠鏡の順番待ちが続きました。

全員が何事もなく、予定の時刻に山田公民館前に帰ってきました。お疲れ様でした。

ホランティエグループ

研修に参加して

副会長 田中 春行

平成16年2月23日、山田学区社会福祉協議会主催の地域ホランティエグループ研修が実施される。午前9時、山田公民館を市社協のバスで出発、オムロン京都太陽株を訪問する。

北村社長はじめ、会社幹部の方々の出迎えを受け、研修室に案内された。最初に創業



オムロン京都太陽株の見学

設立され、翌年4月に太陽の家が開所された。障害者が働くためには、社会人としての自覚と意欲が必要であり、たとえ身体に障害があっても就労能力に関係がない、とのことである。工場では、創意工夫による改善と科学的設備の導入で、いろいろな障害をもつて

いる人達に支障なく仕事ができるように整備されている。また、生産性と作業の効率向上のための設備が導入され、すべてがバリアフリーで、整然とした工場である。

障害のある人が、個人として尊重され、それぞれ身近な地域社会において、安心して、自立した生活ができる施策が積極的に取り込まれている。敷地内には独身寮と世帯住宅も併設され、地域での自立

生活の実現、社会参加できるための支援や、環境づくりも進められ、創業者の基本理念が築かれていると強く印象を受け、オムロン太陽の家をあとにした。

午後は、草津市笠山にある身体障害者(肢体不自由者)更生(社会復帰)施設である県立むれやま荘を訪問した。この施設は、1984年(昭和59年)に開所された。

むれやま荘は、身体障害者手帳を有し、支援受給者が対象となっている。入所は65歳迄で介護保険の利用が最優先

となつていくとのこと。

入所者は、現在66名で男性が八割を占めている。病気の原因はやはり脳梗塞、脳内出血である。年齢は比較的若年層で53〜54歳が多いとのこと。服の脱着、洗濯、入浴など自分のことは、自分でするADL(日常生活動作―脳の可塑性)などの訓練により機能改善や日常生活の回復と自立生活が、はかられるような各種の集団訓練(リハビリテーション)を行っている。

参考

我が国の障害者は、総人口の4.5%である。内訳は、身体障害者325万人、知的障害者46万人、精神障害者204万人である。

滋賀県内には、約42,000人の身体障害者手帳所持者が生活している。その日常生活や就労、修学などの状況は多岐に渡っている。

今後、持続可能な社会保障制度の確立(ハード面、ソフト面)を図るための改革を早急に進められることを強く望むところである。

編集後記

もうすぐ4月です。今年は桜の開花も特に早いようで、とまどいを感じるほどです。ともかく4月は花で春が満ちあふれる月です。私たちの山田学区もあちこちで花がこぼれるようになるでしょう。

3月には卒園、卒業式が行われ、つづいて4月には入園、入学式があります。子どもたちはちいさな胸、若い心に希望と夢をときめかしている筈です。

私たち大人はみんなで力を合わせて、いろいろなふれあいの場を通じて、人の心の暖かさが感じとれるすばらしい山田学区をプレゼントして行きたいものです。

